

# 和ん話んタイムズ

No. 16

2012.7.20

NPO 法人  
ここ掘れ和ん話ん探検隊

小国町からの委託事業

## 「森林体験観光推進業務」が順調に進んでいます

「山形県ふるさと雇用再生特別基金」を財源とした雇用対策により小国町から委託を受けて取り組んでいる標記の事業は5月から動き出したものですが、順調に活動を展開しています。

今までに、6つのイベントを企画・実施し、業務の趣旨に沿っていろいろなメニューが行われてきました。

### ◆新緑のブナ林トレッキング 5月12日(土) 健康の森「よこね」 参加者 22名

講師 阿部米美氏 吉田岳氏



ブナ林の中にはまだ雪が残る所もあり、時折、アラレが降る天候の日でしたが、散策路にはイワウチワガ咲き乱れ、講師へは草木の名前を尋ねる質問が後を絶たない。ブナの木の肌に聴診器を当てて音を聞く子供たちから大きな歓声があがっていた。これから始まるイベントのための「足ならし」と位置づけ。



### ◆経塚山トレッキング 5月20日(日) 経塚山 参加者 25名

講師 斉藤良行氏 吉田岳氏



好天にも恵まれ、整備された登りやすい道をゆっくり2時間、410mの頂上へ。頂上からは足下に町の中心部、遠くには朝日連峰がくっきり。展望しながらのおにぎりは格別においしかった。宮城県や長井、南陽



からの参加もあった。道脇にはヒメサユリも咲いていた。

### ◆野鳥観察会 5月27日(日) 健康の森「よこね」

参加者 21名 講師 鳥海隼夫氏 神田やよい氏

野鳥の鳴き声をたよりに双眼鏡で野鳥を探したり、講師がセットしてくれた望遠鏡で野鳥を観察した。また、講師からは鳥の生態や森の仕組みなども説明された。健康の森では、23種の野鳥の鳴き声が確認されたという。昼食はスタッフによる山菜汁・山菜の天ぷらが準備されて、小国の食を堪能。





## ◆第1回十三峠トレッキング 6月9日(土) 鷹巣峠・榎峠・大里峠

参加者 22名 講師 横山征平氏

4回に分けて13の峠を踏破しようと企画して1回目。地元関川村の横山氏から峠にかかわる説明を受けた。小雨が降り続く一日であった。キンラン・ヒメシャガ・エビネなどが咲いていた。モニターツアーということもあり、終点の玉川に着いて、アンケートの記入をもらった。



## ◆「森林セラピー」モニターツアー

6月23日(土) 森林セラピー「温身平」

参加者7名 講師 斎藤常彦氏

参加者が少なかった。森の香りと美しい姿を見せるブナ林で「景観・雰囲気」「本物に触れる」を体感し、癒しを味わった。

ガイドの斎藤氏はボール、スポンジ等を使って丁寧に、分かりやすく説明された。場所を天狗平ロッジに移し、1/fのゆらぎを体感し、癒しの解説を学んだ。



## ◆サスペンス・ブリッジ

7月7日(土) 白布平 石滝の大規模林道 参加者13名



朝のうち雨のため、中止と勘違いして参加者が数人減った。大石・白布の二つの釣り橋を渡ってアドベンチャー気分を味わう。雨のため、角楯橋までは行けなかった。昼食

は「りふれ」を借りた。午後は大規模林道の小枕トンネル(471m)を全員で歩き、よもぎ平のブナの原生林を一望した。



スタッフとしての協力をよろしく！！

または、イベントへの参加も ぜひ！！

年間を通して、20を超えるイベントを企画しています。それぞれのイベントでスタッフが必要です。ご協力をおねがいします。イベントへの参加もよろしく！ また、参加者の募集・PRも積極的におねがいします。年間の予定表は、タイムズの15号に記載してあります。また、和ん話んの事務所にご連絡くだされば、くわしい内容を説明します。(050-7507-5955)